

健康栄養学科

井澤幸子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Raised homocysteine and low folate and vitamin B-12 concentrations predict cognitive decline in community-dwelling older Japanese adults	共著	2008年12月	Clinical Nutrition.27	Koike T, Kuzuya M, Kanda S, Okada K, Izawa S, Enoki H, Iguchi A.	
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 在宅要介護高齢者のADL低下要因としての身体計測値変動(口頭発表)	学会発表	2008年10月	第30回日本臨床栄養学会, 東京	井澤幸子, 榎裕美, 長谷川潤, 岡田希和子, 井口昭久, 葛谷雅文	
2. 介護負担感と要介護者の健康との関係(口頭発表)	学会発表	2009年6月	第51回日本老年医学会, 横浜	葛谷雅文, 平川仁尚, 榎裕美, 井澤幸子, 長谷川潤, 広瀬貴久, 井口昭久	
3. 在宅要介護高齢者のInstrumental ADL低下の要因についての検討(口頭発表)	学会発表	2009年6月	第51回日本老年医学会, 横浜	井澤幸子, 榎裕美, 平川仁尚, 長谷川潤, 井口昭久, 葛谷雅文	
4. 在宅要介護高齢者の死亡場所ならびに死因についての検討(口頭発表)	学会発表	2009年6月	第51回日本老年医学会, 横浜	長谷川潤, 平川仁尚, 井澤幸子, 榎裕美, 井口昭久, 葛谷雅文	
5. 施設入所者の低栄養高齢者への補食の効果に関する研究(口頭発表)	学会発表	2009年9月	第31回日本臨床栄養学会総会, 神戸	井澤幸子, 榎裕美, 長谷川潤, 岡田希和子, 井口昭久, 葛谷雅文	

市原啓子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Midkine is highly expressed in neuroblastoma tissues.	共著	2008年12月	Pediatric Surgery International, 24巻12号	Fiegel HC, Kaifi JT, Wachowiak R, Quaas A, Aridome K, Ichihara-Tanaka K, Muramatsu T, Metzger R, Izbicki JR, Ertmann R, Kluth D, Till H.	pp.1355-1359
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. ミッドカインによるオリゴデンドロサイト前駆細胞CG-4細胞におけるニューログリカンCとインテグリンの膜受容体複合体形成	学会発表	2008年12月	第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会(BMB2008), 神戸	市原啓子, 村松喬	
2. 骨の健康 一丈夫な骨を維持するために	講演会	2008年10月	平成20年度日進市連携公開講座, 愛知県日進	市原啓子	

上野有紀

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. クルクミノイドによる糖尿病性白内障予防効果	共著	2009年6月	Functional Food 第7号, Vol.3, No.1	上野有紀, 大澤俊彦	pp.53-57
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Anti-inflammatory Effect and Mechanisms of Action of Tocotrienols in Adipocytes	学会発表	2008年10月	Second International Symposium on Rice and Disease Prevention, Wakayama, Japan	Ueno Y, Komazaki M, Osawa T	
2. Protective Role of Rice Antioxidative Components on Obesity-related Disorders	※	2008年10月	Second International Symposium on Rice and Disease Prevention, Wakayama, Japan	Osawa T, Ueno Y	
3. 脂肪細胞における炎症反応に対するトコトリエノールの効果	研究発表	2008年11月	第5回日本トコトリエノール研究会, 東京	上野有紀, 駒崎睦, 大澤俊彦	
4. トコトリエノールによる脂肪細胞における炎症反応防御機構	研究発表	2008年12月	第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会 BMB2008, 神戸	上野有紀, 駒崎睦, 大澤俊彦	
5. ヒ素による細胞膜脂質ラフトを介する活性酸素産生機序の解析	研究発表	2008年12月	第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会 BMB2008, 神戸	川本善之, 武田湖洲恵, 上野有紀, 鈴木治彦, ビラドゥー ダニエルD, 加藤昌志, 中島泉	
6. 保健機能食品等の食品の表示	講師	2009年2月	栄養情報担当者(NR)体験講座, (株)RDサポート・愛知学院大学共同開催, 愛知学院大学, 日進	上野有紀	
7. トコトリエノールによる脂肪細胞における炎症反応抑制作用機構	研究発表	2009年3月	日本農芸化学会2009年度大会, 福岡	上野有紀, 駒崎睦, 大澤俊彦	
8. 脂肪細胞における炎症応答に対するトコトリエノールの効果	研究発表	2009年5月	第63回日本栄養・食糧学会大会, 長崎	上野有紀, 駒崎睦, 大澤俊彦	

※ Key note Lectures

宇野智子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 総合医に必要な漢方の知識 — common disease に対する漢方治療, 症状・症候に対する漢方治療, 糖尿病	共著	2009年8月	診断と治療, 第97巻8号	佐藤祐造, 宇野智子	pp.1589-1593

奥田みゆき

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健常女子大学生における米飯の食後血糖に及ぼす食物繊維, 酢, 大豆製品, 牛乳・乳製品の影響	共著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号	末田香里, 奥田みゆき, 山田真紀子	pp.23-30

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 大学生における生活習慣記録機装着による体組成・生活習慣への影響	学会発表	2009年9月	第56回日本栄養改善学会学術総会	奥田みゆき	

酒井映子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 日本口腔ケア学会認定資格 標準テキスト下巻	共著	2008年10月	日総研出版	末田香里, 酒井映子	pp.195-196, pp.445-447
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 朝食摂取パターン別のライフスタイルに視点をのいた栄養教育法の検討	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	酒井映子, 武藤亜有, 武田康代, 出本陽子	pp.63-74
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健康づくりとしての食育の推進	単著	2008年12月	西春日井地区 発育と健康状態, 第41集		pp.26-35
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 食をめぐる現状と食育の推進について—ボランティアの役割—	講演会	2008年10月	関市食育推進ボランティア育成講演会, 関	酒井映子	
2. シンポジウム 食事療法の新たな展開	学会	2008年10月	第29回日本肥満学会, 大分	酒井映子	
3. PDS による市町村公衆栄養活動の推進に向けた検討(第報)目標設定方法の標準化	学会	2008年11月	第67回日本公衆衛生学会, 福岡	近藤今子, 酒井映子	
4. 地域における食育推進のための教育プログラムの検討	学会	2008年11月	第67回日本公衆衛生学会, 福岡	市川智子, 酒井映子	
5. 親子で食育を学ぼう—自らが取り組む食育—	講演会	2008年12月	豊橋市食生活推進協議会, 豊橋	酒井映子	
6. 職域集団における生活習慣病ハイリスク者の食生活状況評価法の検討	学会	2009年1月	第11回日本病態栄養学会, 京都	酒井映子, 森圭子, 末田香里, 佐藤祐造	
7. 健康づくりのための食育の推進	講演会	2009年2月	愛知県尾北歯科医師会, 江南	酒井映子	
8. 子どもの栄養管理—小児の発育・発達と栄養・食生活—	講演会	2009年6月	子育て・家族支援者養成講座, 高浜	酒井映子	
9. 今,なぜ食育なのか—地域に根ざした食育推進のために—	講演会	2009年6月	知多市食育推進計画策定委員会, 知多	酒井映子	
10. 食糧情勢と栄養士の視点—食べ物と健康に関する教育のあり方—	研修会	2009年7月	愛知県栄養士会平成21年度生涯学習研修会, 名古屋	酒井映子	
11. 地域に根ざした食育の取り組みにおける小学生を対象とした教育プログラムの効果	学会	2009年9月	第56回日本栄養改善学会, 札幌	酒井映子, 村橋はるか, 坂田亜沙美, 出本陽子	
12. 小学生を対象とした食育の教育プログラムの教育方法が理解度や実践度に及ぼす影響	学会	2009年9月	第56回日本栄養改善学会, 札幌	村橋はるか, 坂田亜沙美, 出本陽子, 酒井映子	

末田香里

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 女子大学生の安静時エネルギー消費量の月間変動	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	末田香里, 市川桃子, 加藤千尋, 澤野恵里佳, 内藤友里恵, 中島あや子, 山本優子	pp.83-88
2. 健常女子大学生における米飯の食後血糖に及ぼす食物繊維, 酢, 油, 大豆製品, 牛乳・乳製品の影響	共著	2009年3月	心身科学, 第1巻第1号	末田香里, 奥田みゆき, 山田真紀子	pp.23-30
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 食域集団における生活習慣病ハイリスク者の食生活状況評価法の検討	学会発表	2009年1月	第12回日本病態栄養学会年次学術集会, 京都	酒井映子, 森圭子, 末田香里, 佐藤祐造	
2. 大学生における生活習慣記録期装着による体組成・生活習慣への影響	学会発表	2009年9月	第56回日本栄養改善学会学術総会, 札幌	奥田みゆき, 末田香里	

服部恵美

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Analyses of transgenic mice that have human CD98 heavy chain gene	共著	2009年2月	Cytologia : 74(1)	Hattori E, Kawano M, Komada H et al.	pp.65-70
2. 肥満と高感度C反応性蛋白(hs-CRP) — 地域住民における性・年齢別の解析 —	共著	2009年3月	日本未病システム学会, 14(2)	服部恵美, 安藤富士子, 下方浩史	pp.293-295
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 肥満と高感度C反応性蛋白(hs-CRP) — 地域住民における性・年齢別の解析 —	学会発表	2008年11月	第15回日本未病システム学会, 東京	服部恵美, 安藤富士子, 下方浩史	

武藤亜有

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 愛知県の伝統食品レンコンの褐変防止に関する酵素学及び調理科学的研究	単著	2009年2月	名古屋女子大学大学院生活学研究科食物栄養学専攻博士前期課程(修士)論文	武藤亜有	
2. 朝食摂取パターン別のライフスタイルに視点をのいた栄養教育法の検討	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	酒井映子, 武藤亜有, 武田康代, 出本陽子	pp.63-73

村松壽子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Dopaminergic hypofunctions and prepulse inhibition deficits in mice lacking midkine.	共著	2009年4月	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 33巻3号	Ohgake S, Shimizu E, Hashimoto K, Okamura N, Koike K, Koizumi H, Fujisaki M, Kanahara N, Matsuda S, Sutoh C, Matsuzawa D, Muramatsu H, Muramatsu T, Iyo M.	pp.541-546

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. Microarray analysis of peritoneum in experimental peritoneal fibrosis identifies pleiotrophin, a profibrotic and inflammatory factor	学会発表	2009年5月	Annual Meeting of the International Society of Nephrology, Milan Italy	Yokoi H, Kasahara M, Mukoyama M, Mori K, Saito Y, Ogawa Y, Kuwabara T, Imamaki H, Kawanishi T, Muramatsu H, Muramatsu T, Sugawara A, Nakao K	
2. Potential role of pleiotrophin in adult hippocampal neurogenesis	学会発表	2009年5月	Societe des Neurosciences Francaise, Bordeaux, France	Rojas-Mayorquin AE, Ferrario JE, Ginestet L, Muramatsu H, Courty J, Raisman-Vozari R	
3. Behavioral alterations induced by intranasal administration of MPTP, an experimental model of Parkinson's disease, in mice with genetic deletion of the heparin binding growth factor midkine	学会発表	2009年5月	Societe des Neurosciences Francaise, Bordeaux, France	Raisman-Vozari R, Rojas-Mayorquin AE, DelBel E, Mongeau R, Lanfumey L, Muramatsu H, Courty J, Prediger RD	
4. 腹膜線維化における新規増殖因子 pleiotrophin の機能的意義の解析	学会発表	2009年6月	第54回日本透析学会, 横浜	横井秀基, 笠原正登, 向山政志, 森潔, 吉岡徹朗, 斎藤陽子, 小川喜久, 桑原孝成, 今牧博貴, 川西智子, 村松壽子, 村松喬, 菅原照, 中尾一和	
5. 遺伝子レベルから見た肥満	講演会	2009年6月	愛知学院大学公開講座, 愛知学院大学日進キャンパス	村松壽子	
6. 遺伝子レベルから見た肥満	講演会	2009年6月	名古屋市民講座生涯学習推進センター	村松壽子	

望月美佳

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 薬用植物による動脈硬化予防機能解析に関する研究	学会発表	2008年11月	第13回日本フードファクター学会	魚住太一, 望月美佳, 大澤俊彦	
2. セサミノール配糖体の生体内代謝および代謝物の機能解	学会発表	2009年3月	日本農芸化学会2009年度(平成21年度)大会	望月美佳, 土江愛和, 日坂真輔, 中村宣督, 三宅義明, 大澤俊彦	
3. ウルソール酸による動脈硬化予防機能解析に関する研究	学会発表	2009年3月	日本農芸化学会2009年度(平成21年度)大会	魚住太一, 望月美佳, 大澤俊彦	
4. 鯉節由来糸状菌が産生する抗酸化物質の血管内皮接着分子への影響	学会発表	2009年5月	第63回日本栄養食糧学会(2009年度)大会	三宅義明, 望月美佳, 大澤俊彦	

森圭子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著形式	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 地域自立高齢者の栄養改善と Quality of Life	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身科学部紀要, 第4号	森圭子, 加藤友佳, 朽名宏恵, 塩井紅, 平瀬悠, 下方浩史	pp.75-81

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 一般講演 食, 食育(2)	学会 座長	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋		
2. 家政学概論(栄養・調理)	講習 会講師	2008年11月	平成20年度岐阜県介護福祉士国家試験(筆記試験)準備講習, 岐阜	森圭子	
3. 誰でも出来る, 自宅で出来るメタボ解消の方法「健康的でおいしい食事の方法」理論	講師	2008年12月	なごや健康カレッジ, 名古屋	森圭子	
4. 誰でも出来る, 自宅で出来るメタボ解消の方法「健康的でおいしい食事の方法」実習	調理 実習 講師	2009年12月	なごや健康カレッジ, 日進	森圭子	
5. 職域集団における生活習慣病ハイリスク者の食生活状況評価法の検討	学会 発表	2009年1月	第11回日本病態栄養学会, 京都	酒井映子, 森圭子, 末田香里, 佐藤祐造	
6. 半定量式食物摂取頻度調査法の妥当性と再現性の検討	学会 発表	2009年1月	第19回日本疫学会, 金沢	森圭子, 下方浩史	
7. 地域に根ざした食育の推進のためにー継続と連携を考えるー	コー ディ ネー ター	2009年2月	愛知県食育推進ボランティア活動報告会, 名古屋	森圭子	
8. 食と健康, メタボリックシンドロームを中心に	講演 会	2009年2月	津島市連携公開講座, 津島	森圭子	
9. 事例発表から学ぶ・交流する	研修 会ア ドバ イザ ー	2009年3月	豊田市保健所管内栄養士連絡会研修会, 豊田	森圭子	
10. 高齢者の食生活について	講師	2009年4月	名古屋市昭和保健所, 高齢者介護予防つるかめ教室第1回	森圭子	
11. 高齢者の食をサポートする, 目標: 栄養マネジメントを支える給食管理の体制	研修 会講 師	2009年5月	平成21年度日進医療食品研修会, 名古屋	森圭子	
12. 高齢者の食生活について	講師	2009年7月	名古屋市昭和保健所, 高齢者介護予防つるかめ教室第2回	森圭子	
13. 食事バランスガイドの理解と活用	研修 会講 師	2009年7月	名古屋市教育委員会教職員研修会, 名古屋	森圭子	
14. 高齢者の食生活について	講師	2009年7月	名古屋市昭和保健所, 高齢者介護予防つるかめ教室第3回	森圭子	
15. 高齢者の食生活について	講師	2009年9月	名古屋市昭和保健所, 高齢者介護予防つるかめ教室第4回	森圭子	
16. 小学校における「食事バランスガイド」を用いた栄養教育の検討(第3報)	学会 発表	2009年9月	第56回日本栄養改善学会, 札幌	森圭子, 皆元恵理子, 菱田佐知子	

渡邊智之

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 糖尿病運動療法の現状ー「糖尿病運動療法・運動処方確立のための学術調査研究」中間報告からー	共著	2009年4月	医歯薬出版株式会社, プラクティス, 26(3)	渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	pp.264-270

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 新しい認知機能検査, TICS-J の開発	共著	2008年10月	日本医事新報, No.4408	小長谷陽子, 渡邊智之, 鷺見幸彦, 太田壽城	pp.72-76
2. 新しい認知機能検査, TICS-J による地域在住高齢者のスクリーニング	共著	2008年10月	日本老年医学会雑誌, 45(5)	小長谷陽子, 渡邊智之, 高田和子, 太田壽城	pp.532-538
3. Remission induction therapy containing rituximab markedly improved the outcome of untreated mature B cell lymphoma	共著	2008年10月	British Journal of Haematology, 143(5)	Nagai H, Yano T, Watanabe T, Uike N, Okamura S, Hanada S, Kawano F, Sunami K, Inoue N, Sawamura M, Nishiura T, Hotta T, Horibe K	pp.672-680
4. 死因別寿命延長への寄与年数からみた地域特性	共著	2009年3月	愛知学院大学論叢心身 科学部紀要, 第4号	渡邊智之, 宮尾克	pp.35-41
5. Answer to the commentary by Yoshisada Shibata on “Hiroshima survivors expected to very low doses of A-bomb primary radiation showed a high risk for cancers”	共著	2009年3月	Environmental Health and Preventive Medicine, 14(2) (Commentary)	Miyao M, Watanabe T, Honda R, Yamada Y	pp.157-158
6. 地域在住高齢者の Quality of Life (QOL) と認知機能の関連性	共著	2009年3月	日本老年医学会雑誌, 46(2)	小長谷陽子, 渡邊智之, 太田壽城, 高田和子	pp.160-167
7. 認知症を含む高齢者の運転に伴う課題の解決に関する研究	共著	2009年3月	平成20年度老人保健健 康増進等事業による研 究報告書	渡邊智之, 小長谷陽子, 柴山漢人, 向井希宏, 岩田仲生, 根本哲也, 宮尾克	pp.1-46
8. 高齢・認知症ドライバーのための工学的支援システムの開発	共著	2009年3月	平成20年度老人保健健 康増進等事業による研 究報告書	伊藤安海, 木平真, 根本哲也, 小長谷陽子, 大野尚則, 渡邊智之, 山中真, 高橋良枝, 鈴木勝也	pp.49-56
9. FBXW7 and NOTCH1 mutations in childhood T cell acute lymphoblastic leukaemia and T cell non-Hodgkin lymphoma	共著	2009年4月	British Journal of Haematology, 145(2)	Park M, Taki T, Oda M, Watanabe T, Yagi KY, Kobayashi R, Suzuki N, Hara J, Horibe K, Hayashi Y	pp.198-206
10. Answer to the comments by Eric J. Grant et al. in “Radiation unlikely responsible for high cancer rates among distal Hiroshima A-bomb survivors”	共著	2009年4月	Environmental Health and Preventive Medicine, 14(4) (Commentary)	Miyao M, Watanabe T, Honda R, Yamada Y	pp.250-253
11. 介護家族から見た認知症高齢者の自動車運転の実態調査	共著	2009年6月	日本医事新報, No.4443	渡邊智之, 藤掛和広, 鈴木亮子, 小長谷陽子, 尾之内直美, 柴山漢人	pp.89-93
12. 若年認知症の発症年齢, 原因疾患および有病率の検討 —愛知県における調査から—	共著	2009年6月	臨床神経学, 49(6)	小長谷陽子, 渡邊智之, 小長谷正明	pp.335-341
13. Legible Character Size on Mobile Terminal Screens: Estimation Using Pinch-in/Out on the iPod Touch Panel	共著	2009年7月	Symposium on Human Interface 2009, Held as part of HCI International 2009, Proceedings, Human Interface, Part II, HCII 2009, LNCS 5618	Hasegawa S, Omori M, Watanabe T, Matsunuma S, Miyao M	pp.395-402
14. Influence of Vertical Length of Characters on Readability in Mobile Phones	共著	2009年7月	Symposium on Human Interface 2009, Held as part of HCI International 2009, Proceedings, Human Interface, Part II, HCII 2009, LNCS 5618	Omori M, Hasegawa S, Watanabe T, Matsunuma S, Miyao M	pp.430-438

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
15. Usefulness of Mobile Information Provision Systems Using Graphic Text-Visibility of Graphic Text on Mobile Phones	共著	2009年7月	Symposium on Human Interface 2009, Held as part of HCI International 2009, Proceedings, Human Interface, Part II, HCII 2009, LNCS 5618	Watanabe T, Omori M, Hasegawa S, Matsunuma S, Miyao M	pp.476-485
16. Evaluation of Body Sway and the Relevant Dynamics While Viewing a Three-Dimensional Movie on a Head-Mounted Display by Using Stabilograms	共著	2009年7月	Third International Conference, VMR 2009, Held as Part of HCI International 2009, Proceedings, Virtual and Mixed Reality, LNCS 5622	Fujikake K, Miyao M, Watanabe T, Hasegawa S, Omori M, Takada H	pp.41-50
17. Comparison of Measurement of accommodation between LCD and CRT at the Stereoscopic Vision Gaze	共著	2009年7月	Third International Conference, VMR 2009, Held as Part of HCI International 2009, Proceedings, Virtual and Mixed Reality, LNCS 5622	Omori M, Hasegawa S, Watanabe T, Fujikake K, Miyao M	pp.90-96
18. Lens Accommodation to the Stereoscopic Vision on HMD	共著	2009年7月	Third International Conference, VMR 2009, Held as Part of HCI International 2009, Proceedings, Virtual and Mixed Reality, LNCS 5622	Hasegawa S, Omori M, Watanabe T, Fujikake K, Miyao M	pp.439-444
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 映像記録型ドライブレコーダーを用いた高齢者の日常運転特性の検討	学会発表	2008年10月	第67回 日本公衆衛生学会総会, 福岡	渡邊智之, 藤掛和広, 宮尾克, 小長谷陽子	
2. 立体映像注視時の水晶体調節	学会発表	2008年11月	3D フォーラム : 第86回研究会, 東京	長谷川聡, 大森正子, 渡邊智之, 高田宗樹, 藤掛和広, 市川哲哉, 宮尾克	
3. ポスター発表 : 疾病予防, 健康管理 (2)	座長	2008年11月	第55回日本学校保健学会, 名古屋		
4. Lens accommodation in response to 3D images on a HMD	学会発表	2009年1月	The 3rd International Workshop on Ubiquitous Virtual Reality (IWUVR2009),elaide, Australia	Miyao M, Hasegawa S, Omori M, Takada H, Fujikake K, Watanabe T, Ichikawa T	
5. A method for evaluating motion sickness induced by watching stereoscopic images on a head-mounted display	学会発表	2009年1月	IS&T/SPIE Electronic Imaging 2010, San Francisco, California, USA	Takada H, Fujikake K, Watanabe T, Hasegawa S, Omori, M Miyao M	
6. 広島での初期放射線低線量被曝者は高い発がんリスクを示した	学会発表	2009年1月	第19回日本疫学会学術総会, 金沢	本多隆文, 渡邊智之, 宮尾克, 山田裕一	
7.HMD における水晶体調節の反応	学会発表	2009年3月	立体映像技術研究会 (3DIT), 東京	大森正子, 長谷川聡, 渡邊智之, 高田宗樹, 宮尾克, 市川哲也	
8. 立体映像酔いを評価する動揺図の定量的指標と頭部加速度について	学会発表	2009年3月	立体映像技術研究会 (3DIT), 東京	藤掛和広, 宮尾克, 高田宗樹, 大森正子, 長谷川聡, 渡邊智之, 市川哲哉	

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
9. 日本における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(予報)	学会発表	2009年3月	第13回日本体力医学会東海地方会学術大会, 名古屋	津田雄介, 長崎大, 内藤正和, 渡邊智之, 大澤功, 佐藤祐造	
10. わが国における糖尿病運動療法の実施状況に関する調査研究(第一報) —日本医師会との共同企画	学会発表	2009年5月	第52回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	佐藤祐造, 曾根博仁, 小林正, 河盛隆造, 渥美義仁, 押田芳治, 田中史朗, 鈴木進, 牧田茂, 大沢功, 田村好史, 今村聡, 渡邊智之	
11. Usefulness of Mobile Information Provision Systems Using Graphic Text—Visibility of Graphic Text on Mobile Phones	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Watanabe T, Omori M, Hasegawa S, Matsunuma S, Miyao M	
12. Influence of Vertical Length of the Characters on Readability in Mobile Phone	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Omori M, Hasegawa S, Watanabe T, Matsunuma S, Miyao M	
13. Legible Character Size on Mobile Terminal Screens: Estimation Using Pinch-In/Out on the iPod Touch Panel	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Hasegawa S, Omori M, Watanabe T, Matsunuma S, Miyao M	
14. Comparison of Measurement of Accommodation Between LCD and CRT at the Stereoscopic Vision Gaze	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Omori M, Hasegawa S, Watanabe T, Fujikake K, Miyao M	
15. Evaluation of Body Sway and the Relevant Dynamics While Viewing a Three-dimensional Movie on a Head-mounted Display by Using Stabilograms	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Fujikake K, Miyao M, Watanabe T, Hasegawa S, Omori M, Takada H	
16. Lens Accommodation to the Stereoscopic Vision on HMD	学会発表	2009年7月	The 13th International Conference on Human-Computer Interaction, San Diego, CA, USA	Hasegawa S, Omori M, Watanabe T, Fujikake K, Miyao M	
17. 小学生の永久歯う蝕経験と生活習慣要因	学会発表	2009年7月	第55回東海公衆衛生学会学術大会, 名古屋	大須賀恵子, 松山吟珠, 渡邊智之, 中垣晴男	